

**令和4年度
奈良県保健研究センター及び奈良県景観・環境総合センター調査研究評価委員会
(概要)**

1 開催日時 令和5年3月17日(金) 午後1時30分～4時10分

2 開催場所 Webシステムを使用した遠隔会議にて開催

3 出席者

多賀委員長、須崎委員、山田委員、上田委員、川崎委員(以上、外部委員)
堀所長、小森所長、榮井副所長、水野課長、上統括主任研究員、
内田統括主任研究員、杉本統括主任研究員、田原統括主任研究員、
中田主任技師、井ノ上主事、高林主任研究員、浦西主任研究員、
徳田総括研究員、本間主査、その他両センター職員

4 議題

(1)調査研究課題結果報告

①健康危機管理体制の強化

—植物性自然毒の遺伝子検査法による鑑別の拡充—

②下水処理場流入水におけるVRE実態調査及び臨床分離株との比較解析

③光化学オキシダント(Ox)生成に寄与する揮発性有機化合物(VOCs)調査

④大和川流域における生活由来化学物質(PPCPs)の残留実態調査

(2)総評

5 公開・非公開の別

議題(1)、(2):非公開

(理由:審議会等の会議の公開に関する指針3のイに該当)

6 議事内容

(1)調査研究課題結果報告

4題の研究課題結果について各主任研究者から報告、及び各委員からの
質疑応答があった。

(2)総評

4題の研究課題結果の報告に対する各委員からの総評があった。

・いろいろな切り口によりディスカッションすることが大事だと感じた。

・計画がよく練られ、それに沿ったデータと結果を見せてもらった。

・たくさんの量のデータを出しており、研究者目線で見ても価値が高い。今
後も調べ尽くすような研究を続けてほしい。

・今後の展開として、他地域との比較など、連携した研究があると面白くな
ると思った。

・研究の成果を発表し、発展させていくことが重要なのではと感じた。